

九大、法政大には 計画大幅縮小などの厳しい評価！

研究拠点 113 件のうち、“当初計画の維持”は 89.4%、
“見直し及び縮小”は 10.6%

旺文社 教育情報センター
平成 16 年 12 月

大学の卓越した研究拠点づくりをめざす目的で、平成 14 年度から文部科学省の新規事業として開始された「21 世紀COEプログラム」の初の中間評価結果（平成 14 年度採択分）が出された。平成 14 年度分の国公私立 50 大学 113 件のうち、「当初目的の達成は困難」とされた拠点が 12 件あり、中でも人文科学分野で九大と法政大の 2 件が「当初計画の大幅な縮小が必要」と判断された。

中間評価の状況

「21 世紀COEプログラム」に採択された研究教育拠点は、原則 5 年間の支援事業が行われる。中間評価は、補助金の適正配分（重点的・効率的配分）を目的とし、事業開始の 2 年経過後に各研究拠点からの報告書等の提出及びヒアリングを受け、進捗状況を確認し、当初目的通りの達成が可能か否かについて、21 世紀COEプログラム委員会により行われる。中間評価の結果は、4 年次以降の補助金配分に反映され、支援事業期間の終了後には事後評価、必要に応じてフォローアップが実施される。

*21 世紀COEプログラム委員会：独立行政法人日本学術振興会を中心に、独立行政法人大学評価・学位授与機構、私立学校振興・共済事業団、大学基準協会の 4 機関により運営される。

中間評価結果（5 段階の総括評価）のうち、「当初計画が順調で目的達成が可能」な拠点は 41 件、「一層の努力が必要」な拠点は 60 件、合計 101 件（89.4%）が“現状の計画維持”だった。これに対し、「目的達成が困難のため、計画の変更が必要」な拠点が 12 件あり、うち 2 件に関しては「計画の大幅な縮小が必要」と判断された。なお、今回は「計画中止」の拠点はなかった。分野別では、人文科学分野で 20 件中 8 件が「計画の変更が必要」と言う厳しい結果だった。（<表 1>、<図 1>参照）

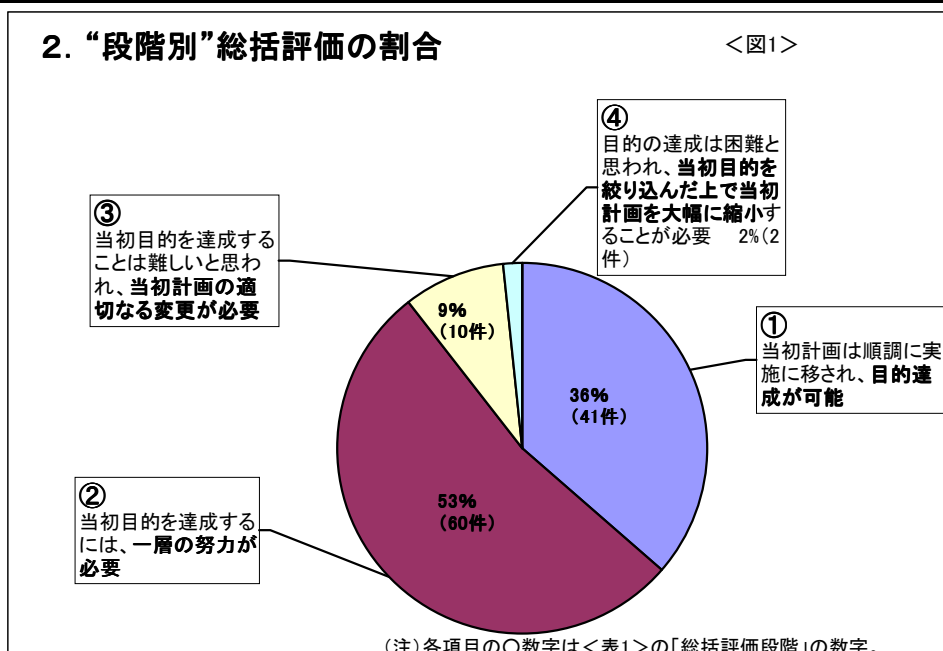
1. 「21世紀COEプログラム」(平成14年度採択拠点)における“分野別”総括評価一覧

<表1>
(件数)

総括評価段階		生命科学	化学・材料科学	情報・電気・電子	人文科学	学際・複合・新領域	5分野合計
①	■当初計画は順調に実施に移され、現行の努力を継続することによって目的達成が可能と評価される。	12	13	6	2	8	41
②	■当初目的を達成するには、一層の努力が必要と判断される。	16	8	13	10	13	60
③	■このままでは当初目的を達成することは難しいと思われるので、当初計画の適切な変更が必要であると判断される。	0	0	1	6	3	10
④	■現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても当初目的の達成は困難と思われるので、拠点形成を継続するためには、当初目的を絞り込んだ上で当初計画を大幅に縮小することが必要と判断される。	0	0	0	2	0	2
⑤	■現在までの進捗状況に鑑み、今後の努力を待っても当初目的の達成は困難と思われるので、拠点形成を中止することが必要と判断される。	0	0	0	0	0	0
計		28	21	20	20	24	113

2. “段階別”総括評価の割合

<図1>



分野別の中間評価例

分野別、総括段階別評価の大学一覧は次ページ<表2>のとおり。14年度に最多の11件が採択された東大は「当初計画が順調で目的達成が可能」な拠点で6件、「一層の努力が必要」な拠点で5件という結果だった。

分野別中間評価の具体例は次のとおり。いずれも「当初計画が順調で目的達成が可能」な拠点の例。

【生命科学】秋田大-医学研究科：「細胞の運命決定制御」

小規模でありながらも、世界をリードする創造的な人材育成策に力を入れており、細胞の運命決定制御機構に関わる研究者や情報を集積することにより研究支援制度を確立させ、新たな研究リーダーとなることが期待される効果的な人材育成が順調に進められている。

【化学・材料科学】東京工業大-総合理工学研究科：「産業化を目指したナノ材料開拓と人材育成」

オリジナリティある研究テーマを取り上げ、産業化につなげることを目指し、また、人材育成にお

いて、プロジェクトマネージング(PM)コースを設置することにより、経営センスを持つ新しい人材育成システムを確立するという新しい試みの計画が進められている。

【情報・電気・電子】阪大-情報科学研究科：「ネットワーク共生環境を築く情報技術の創出」

世界をリードする創造的な人材育成に力を入れ、大学院学生の入学者数が大きく伸びた拠点である。

【人文科学】早大-演劇博物館：「演劇の総合的研究と演劇学の確立」

アーカイブ構築コース、演劇理論コース、古典演劇研究コースなど、それぞれのコースにおいて具体的な成果があがっており、また国内外の若手研究者を組織的に育成するなど人材育成の面にも力を入れており、世界の演劇研究の拠点としての地位を確立するという計画は順調に進んでいる。

【学際・複合・新領域】静岡県大-生活健康科学研究科：「先導的健康長寿学術研究推進拠点」

『食』と『薬』のそれぞれ独自に発展してきた学問領域を統合して、『薬食同源』を共通意識として、一大学内で組織的に研究・教育できる体制は本拠点以外には従来見られず、また新しい学問領域である『健康長寿科学』の創成、医薬品および保健機能食品の正しい利用方法を国民一般に助言できるアドバイザースタッフおよびその指導者の養成など、他に類を見ない拠点として極めて水準の高い研究と教育を目指している。

3. “分野別、総括評価別”大学一覧

<表2>

総括評価段階	生命科学	化学・材料科学	情報・電気・電子	人文科学	学際・複合・新領域
① ■目的達成が可能	北大、秋田大、群馬大、東大(2件)、名大、京大(2件)、阪大、神戸大、奈良先端科学技術大学院大、熊本大	東北大(2件)、東大、東京工業大(2件)、東京農工大、信州大、名大(2件)、阪大、九大、青山学院大、早大	東北大、東大(2件)、東京工業大、京大、阪大	東大、早大	東京外大、京大、阪大、鳥取大、愛媛大、長崎大、静岡県大、慶大
② ■一層の努力が必要	帯広畜産大、東北大、筑波大、東大、東京工業大、名大、阪大、九大、宮崎大、兵庫県大、北里大、慶大、東海大、日本大、立命館大、近畿大	筑波大、東大、長岡技術科大、名古屋工大、京大(2件)、阪大、慶大	北大、横浜国大、豊橋技術科大、名大(2件)、京大、奈良先端科学技術大学院大、広島大、九大、慶大、中央大、早大、名城大、	北大、東北大、東大(2件)、名大、京大、広島大、慶大、國學院大、立命館大	北大、筑波大、東大、東京農工大、横浜国大、金沢大、岐阜大、豊橋技術科大、京大(2件)、大阪府大、玉川大、愛知大
③ ■当初計画の適切な変更が必要			立命館大	お茶の水女大、東京外大、京大、阪大、大阪市大、早大	佐賀大、上智大、早大
④ ■達成は困難と思われるので、当初目的を絞り込んだ上で当初計画を大幅に縮小				九大、法政大	
計	28	21	20	20	24

なお 17 年度以降、15 年度採択分 (133 件、5 分野)、16 年度採択分 (28 件、1 分野「革新的分野」) が順次中間評価を受けることになる。

「計画“中止”を免れた 2 件

人文科学系統の 2 件 (九大「東アジアと日本：交流と変容」、法政大「日本発信の国際日本学の構築」) については、当初計画に照らすと「中止すべき」という評価だったようだ。しかし、大学からの反論の機会を設け、修正計画案などを検討した結果、“当初目的を絞り込み、焦点を明確化すれば、今後 2 年間で達成が可能”と判断され、「当初計画の大幅な縮小」を伴ったうえでの事業継続となった模様だ。2 件とも 1 年後には進捗状況が確認されるが、17 年度以降の補助金は大幅に減額される見通しのようだ。

次ページから「“分野別”中間評価一覧」(概要)を掲載。

◆「21世紀COEプログラム」「分野別・拠点別」中間評価一覧(平成14年度採択拠点)

1.【分野名:生命科学】

大学名	拠点のプログラム名称	中核となる専攻等名	中間評価
北大	パイオとナノを融合する新生命科学拠点	理学研究科生物科学専攻	①
帯広畜産大	動物性蛋白質資源の生産向上と食の安全確保 (特に原虫病研究を中心として)	原虫病研究センター	②
東北大	バイオナノテクノロジー基盤未来医工学	工学研究科バイオロボティクス専攻	②
秋田大	細胞の運命決定制御	医学研究科構造機能系専攻	①
筑波大	複合生物系応答機構の解析と農学的高度利用	生命環境科学研究科生物機能科学専攻	②
群馬大	生体情報の受容伝達と機能発現	生体調節研究所	①
東大	生体シグナル伝達機構の領域横断的研究	医学系研究科機能生物学専攻	①
東大	「個」を理解するための基盤生命学の推進	理学系研究科生物科学専攻	②
東大	戦略的基礎創薬科学	薬学系研究科生命薬学専攻	①
東京工業大	生命工学フロンティアシステム	生命理工学研究科生命情報専攻	②
名大	システム生命科学:分子シグナル系の統合	理学研究科生命理学専攻	①
名大	新世紀の食を担う植物バイオサイエンス	生命農学研究科生物機構・機能科学専攻	②
京大	先端生命科学の融合相互作用による拠点形成	生命科学研究科統合生命科学専攻	①
京大	生物多様性研究の統合のための拠点形成	理学研究科生物科学専攻	①
阪大	生体システムのダイナミクス	生命機能研究科生命機能専攻	①
阪大	細胞超分子装置の作動原理の解明と再構成	理学研究科生物科学専攻	②
神戸大	蛋白質のシグナル伝達機能	バイオシグナル研究センター	①
奈良先端科学技術大学院大	フロンティアバイオサイエンスへの展開 (細胞機能を支える動的分子ネットワーク)	バイオサイエンス研究科細胞生物学専攻	①
九大	統合生命科学 (ポストゲノム時代の生命高次機能の探究)	理学府生物科学専攻	②
熊本大	細胞系譜制御研究教育ユニットの構築	発生医学研究センター	①
宮崎大	生理活性ペプチドと生体システムの制御	医学研究科生体制御系専攻	②
兵庫県大	構造生物学を軸とした分子生命科学の展開	生命理学研究科生命科学専攻	②
北里大	天然素材による抗感染症薬の創製と基盤研究	北里生命科学研究科・感染制御科学府	②
慶大	システム生物学による生命機能の理解と制御	理工学研究科基礎理工学専攻	②
東海大	ヒト複合形質の遺伝要因とその制御分子探索	医学研究科機能系専攻	②
日本大	微生物共生系に基づく新しい資源利用開発	生物資源科学研究科応用生命科学専攻	②
立命館大	放射光生命科学研究	理工学研究科総合理工学専攻	②
近畿大	食資源動物分子工学研究拠点	生物理工学研究科生物工学専攻	②

(注)右欄「中間評価」の○数字は、<表1>の「総括評価段階」の数字。

2.【分野名:化学・材料科学】

大学名	拠点のプログラム名称	中核となる専攻等名	中間評価
東北大	大分子複雑系未踏化学	理学研究科化学専攻	①
東北大	物質創製・材料化国際研究教育拠点	金属材料研究所	①
筑波大	未来型機能を創出する学際物質科学の推進	数理物質科学研究科物性・分子工学専攻	②
東大	動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学	理学系研究科化学専攻	①
東大	化学を基盤とするヒューマンマテリアル創成	工学系研究科応用化学専攻	②
東京農工大	ナノ未来材料	工学研究科応用化学専攻	①
東京工業大	分子多様性の創出と機能開拓	総合理工学研究科物質電子化学専攻	①
東京工業大	産業化を目指したナノ材料開拓と人材育成	総合理工学研究科物質科学創造専攻	①
長岡技科大	ハイブリッド超機能材料創成と国際拠点形成	工学研究科材料工学専攻	②
信州大	先進ファイバー工学研究教育拠点	工学系研究科生物機能工学専攻	①
名大	物質科学の拠点形成:分子機能の解明と創造	理学研究科物質理学専攻	①
名大	自然に学ぶ材料プロセスの創成	工学研究科マテリアル理工学専攻	①
名古屋工大	環境調和セラミックス科学の世界拠点	工学研究科物質工学専攻	②
京大	京都大学化学連携研究教育拠点 (新しい物質変換化学の基盤構築と展開)	理学研究科化学専攻	②
京大	学域統合による新材料科学の研究教育拠点	工学研究科材料化学専攻	②
阪大	自然共生化学の創成	理学研究科高分子科学専攻	②
阪大	構造・機能先進材料デザイン研究拠点の形成	工学研究科マテリアル科学専攻	①
九大	分子情報科学の機能イノベーション	工学府物質創造工学専攻	①
青山学院大	エネルギー効率化のための機能性材料の創製	理工学部附置先端技術研究開発センター	①
慶大	機能創造ライフコンジュゲートケミストリー	理工学研究科基礎理工学専攻	②
早大	実践的ナノ化学教育研究拠点	理工学研究科応用化学専攻	①

(注)右欄「中間評価」の○数字は、<表1>の「総括評価段階」の数字。

3.【分野名:情報・電気・電子】

大学名	拠点のプログラム名称	中核となる専攻等名	中間評価
北 大	知識メディアを基盤とする次世代ITの研究	情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻	②
東北大	新世代情報エレクトロニクスシステムの構築	工学研究科電子工学専攻	①
東 大	情報科学技術戦略コア	情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻	①
東 大	未来社会を担うエレクトロニクスの展開	工学系研究科電子工学専攻	①
東京工業大	フォトニクスナノデバイス集積工学	理工学研究科電気電子工学専攻	①
横浜国大	情報通信技術に基づく未来社会基盤創生	工学研究院知的構造の創生部門電気電子と数理情報分野	②
名 大	先端プラズマ科学が拓くナノ情報デバイス	工学研究科電子情報システム専攻	②
名 大	社会情報基盤のための音声・映像の知的統合	情報科学研究科メディア科学専攻	②
豊橋技科大	インテリジェントヒューマンセンシング	工学研究科博士後期課程電子・情報工学専攻	②
京 大	知識社会基盤構築のための情報学拠点形成	情報学研究科社会情報学専攻	①
京 大	電気電子基盤技術の研究教育拠点形成	工学研究科電子工学専攻	②
阪 大	ネットワーク共生環境を築く情報技術の創出	情報科学研究科マルチメディア工学専攻	①
奈良先端科学技術大学院大	ユビキタス統合メディアコンピューティング	情報科学研究科情報処理学専攻	②
広島大	テラビット情報ナノエレクトロニクス	ナノデバイス・システム研究センター	②
九 大	システム情報科学での社会基盤システム形成	システム情報科学府情報工学専攻	②
慶 大	アクセス網高度化光・電子デバイス技術	理工学研究科総合デザイン工学専攻	②
中央大	電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ	理工学研究科情報工学専攻	②
早 大	プロダクティブICTアカデミアプログラム	理工学研究科情報・ネットワーク専攻	②
名城大	ナノファクトリー	理工学研究科電気電子・情報・材料工学専攻	②
立命館大	マイクロ・ナノサイエンス・集積化システム	理工学研究科総合理工学専攻	③

(注)右欄「中間評価」の○数字は、<表1>の「総括評価段階」の数字。

4.【分野名：人文科学】

大学名	拠点のプログラム名称	中核となる専攻等名	中間評価
北 大	心の文化・生態学的基盤に関する研究拠点	文学研究科人間システム科学専攻	②
東北大	言語・認知総合科学戦略研究教育拠点	国際文化研究科国際文化交流論専攻	②
東 大	共生のための国際哲学交流センター	総合文化研究科超域文化科学専攻	②
東 大	生命の文化・価値をめぐる「死生学」の構築	人文社会系研究科基礎文化研究専攻	①
東 大	基礎学力育成システムの再構築	教育学研究科総合教育科学専攻	②
東京外大	言語運用を基盤とする言語情報学拠点	地域文化研究科地域文化専攻	③
お茶の水女大	誕生から死までの人間発達科学	人間文化研究科人間発達科学専攻	③
名 大	統合テキスト科学の構築	文学研究科人文学専攻	②
京 大	グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成	文学研究科歴史文化学専攻	②
京 大	心の働きの総合的研究教育拠点	文学研究科行動文化学専攻	③
阪 大	インターフェイスの人文学	文学研究科文化表現論専攻	③
広島大	21世紀型高等教育システム構築と質的保証	高等教育研究開発センター	②
九 大	東アジアと日本：交流と変容	比較社会文化学府日本社会文化専攻	④
大阪市大	都市文化創造のための人文科学的研究	文学研究科哲学歴史学専攻	③
慶 大	心の解明に向けての統合的方法論構築	文学研究科哲学・倫理学専攻	②
國學院大	神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成	文学研究科神道学専攻	②
法政大	日本発信の国際日本学の構築	人文科学研究科日本史学専攻	④
早 大	演劇の総合的研究と演劇学の確立	演劇博物館	①
早 大	アジア地域文化エンハンシング研究センター	文学研究科芸術学(美術史)専攻	③
立命館大	京都アート・エンタテインメント創成研究	文学研究科史学専攻	②

(注)右欄「中間評価」の○数字は、<表1>の「総括評価段階」の数字。

5.【分野名:学際・複合・新領域】

大学名	拠点のプログラム名称	中核となる専攻等名	中間評価
北大	生態地球圏システム劇変の予測と回避	地球環境科学研究科大気海洋圏環境科学専攻	②
筑波大	健康・スポーツ科学研究の推進	人間総合科学研究科体育科学専攻	②
東大	融合科学創成ステーション	総合文化研究科広域科学専攻	②
東京外大	史資料ハブ地域文化研究拠点	地域文化研究科地域文化専攻	①
東京農工大	新エネルギー・物質代謝と生存科学の構築 (経済性・安全性を主眼とした農工融合型物質エネルギー代謝と生存科学体系の構築)	生物システム応用科学研究科生物システム応用科学専攻	②
横浜国大	生物・生態環境リスクマネジメント	環境情報研究院自然環境と情報部門	②
金沢大	環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測 (モニタリングネットワークの構築と人為的影響の評価)	自然科学研究科地球環境科学専攻	②
岐阜大	野生動物の生態と病態からみた環境評価	連合獣医学研究科獣医学専攻	②
豊橋技科大	未来社会の生態恒常性工学	工学研究科博士後期課程環境・生命工学専攻	②
京大	世界を先導する総合的地域研究拠点の形(フィールド・ステーションを活用した教育・研究体制の推進)	アジア・アフリカ地域研究研究科東南アジア地域研究専攻	②
京大	環境調和型エネルギーの研究教育拠点形成	エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻	②
京大	災害学理の究明と防災学の構築	防災研究所	①
阪大	新産業創造指向インターナノサイエンス	産業科学研究所高次制御材料科学研究部門	①
鳥取大	乾燥地科学プログラム	乾燥地研究センター	①
愛媛大	沿岸環境科学研究拠点	沿岸環境科学研究センター	①
佐賀大	海洋エネルギーの先導的利用科学技術の構築	海洋エネルギー研究センター	③
長崎大	放射線医療科学国際コンソーシアム	医歯薬学総合研究科・放射線医療科学専攻	①
静岡県大	先導的健康長寿学術研究推進拠点	生活健康科学研究科食品栄養科学専攻	①
大阪府大	水を反応場に用いる有機資源循環科学・工学	工学研究科物質系専攻	②
慶大	次世代メディア・知的社会基盤	政策・メディア研究科政策・メディア専攻	①
上智大	地域立脚型グローバル・スタディーズの構築	外国語学研究科地域研究専攻	③
玉川大	全人的人間科学プログラム(脳の学習・記憶・推論・思考のメカニズムの究明とその教育技術への応用)	学術研究所	②
早大	現代アジア学の創生	政治学研究科政治学専攻国際関係・比較政治	③
愛知大	国際中国学研究センター	中国研究科中国研究専攻	②

(注)右欄「中間評価」の○数字は、<表1>の「総括評価段階」の数字。